

## (1) 林業の担い手の育成・確保を図ります！！

### 【現状と課題】

林業は小規模でしかも農業との兼業がほとんどであるため、農業と同様に後継者対策や担い手の育成対策を進めることが重要となっています。

### 【展開する施策】

森林施業の集約化や長伐期施業等に効率よく対応でき、経営感覚にも優れた林家等の育成の推進や、林業研究グループ\*等の先導的活動を支援するとともに、「木育」を推進することにより、次の世代を担う林業後継者の育成を促進します。

また、林業労働者の育成のため、各種林業技能研修への積極的な参加を促進し、林業従事者の技能・技術の向上を図るとともに、資格取得への支援を行います。

○ 林業経営者の養成に関する研修情報の提供を行いません。

### 【モデル事例】

#### 高岡町林業研究グループ連絡協議会

当協議会は、15年前に設立され、現在、女性2人を含む20名で構成されています。

活動内容としては、サカキの栽培・出荷や、ホタ木(椎茸原木を伐採して種駒を打ち込み、一年間養生)の販売等を行なっています。

その他、地域との交流として、種駒打ち体験の指導や間伐の講習並びに間伐実施の要請等を行なっています。



緑竹の栽培状況



椎茸原木への種駒打ち体験

#### \*林業研究グループ

森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流等、森林・林業にかかわる活動を行なう自主グループ。

## (2) 林業事業体・経営体を育成します！！

### 【現状と課題】

長期にわたる木材価格の低迷と高齢化の進行等により、素材生産や間伐等の計画的な森林施業が遅れており、森林組合などの林業経営体への森林施業の受委託や経営にも影響を与えています。

### 【展開する施策】

森林組合は、森林計画制度の見直しにより、施業集約化や施業提案、森林経営計画の作成等について中心的な役割を担うとともに、森林整備の中核的な担い手として重要な役割が期待されるため、機能充実と経営基盤の強化を図ります。また、民間事業体は素材生産の中核的な担い手としての役割を期待されていることから、その育成と体質の強化を図ります。

- 森林組合へ林業振興資金の貸付を行います。



宮崎中央森林組合事務所（高岡）



宮崎中央森林組合作業所（高岡）

### (3) 森林ボランティアを育成します！！

#### 【現状と課題】

近年、松くい虫の被害で松の少なくなった海岸松林や、十分な手入れが行き届かず荒れた里山等が増加してきており、このままでは森林の持つ多面的機能の発揮に支障をきたすことが懸念されます。このような状況のなかで、一部では地域住民のボランティア活動により手入れが行なわれ、保全されている森林もあります。

#### 【展開する施策】

海岸松林や里山等を活動フィールドとするボランティア団体の活動や、企業等に支援などを行い、市民協働による森林づくりを推進します。

○ ボランティア団体へ活動助成を行ないます。

#### 【モデル事例①】

##### 松林自主管理グループ(檜振興会)

檜振興会は、檜地区の16自治会で構成しており、地区内の環境づくりを行なっています。その一環として、松林の保全に取り組み始めた平成9年当時、当地区の松林は、松くい虫にやられ、雑木が多く、不法投棄されたごみが散乱していました。それから5年間、地元の小中学生などと植樹した松は、約5,000本になります。今は、草払いや枝打ち、間伐などの手入れを行なうほか、月2回は巡視を行い、松の状態やごみの不法投棄がないかを確認しています。



一ツ葉松林の清掃活動

#### 【モデル事例②】

##### 椿ボランティア会

椿ボランティア会は、市民に親しまれる椿山森林公園づくりに自主的に参加し、ボランティア意識の高揚と市の花木である『つばき』の普及を図ることを目的に、平成14年1月に結成されています。

活動内容としては、毎月第3日曜日を定例活動日として、椿山森林公園内の椿の剪定、除草、清掃、摘蕾などを行なっています。



椿山森林公園の清掃活動



## (4) 森林環境教育を推進します！！

### 【現状と課題】

「みどりの少年団\*」は12団体結成されており、「植樹活動」や「緑の羽根募金活動」、「ボランティア活動」など、それぞれの少年団の特徴をいかした活動を行なっています。そして、この活動に対しては県緑化推進機構と市が補助を行なっています。一方、「木育」についての取り組みは、現在、市内の小中学校ではほとんど行われていない状況です。

### 【5年後の目標】

#### みどりの少年団の組織数

(平成22年度) 12団体 ⇒ (平成28年度) 15団体

### 【展開する施策】

既設の「みどりの少年団」への活動については今後も支援を継続するとともに、小中学校に対して活動状況等の紹介を行い、新規加入を促進します。また、椿山森林公園や椿山キャンプ場等の森林施設を森林環境教育の場として活用の推進を図ります。

「木育」については、小中学校等への林業指導者の派遣や各種イベントの開催等を通じて推進していきます。

○ みどりの少年団への活動助成を行ないます。



少年団活動状況（緑の募金）



少年団活動状況（植栽）

#### \*みどりの少年団

次代を担う少年少女が緑を通じて広く自然と関わりをもち、自然の学習と合わせて自然を守り、公德心を高めながら奉仕活動、キャンプなどのレクリエーション、森の手入れなどを実践することを目的とした集団。